



令和7年度公開講座 環境学入門



～人文社会科学部地域政策課程 地域環境プログラムの紹介～

後援：岩手県教育委員会(予定) 盛岡市教育委員会(予定)

岩手大学人文社会科学部地域政策課程地域環境プログラムでは、環境の視点から持続可能な社会づくりの諸課題に取り組み、地域社会に貢献できる人材の養成を目的として教育研究を行っています。

今回の公開講座では、高校生を主対象として、「環境学」を焦点とする本プログラムの教育研究の内容を紹介するとともに、地域社会に関わる課題について、環境リスク学・環境生態学・環境社会学・環境政策論・環境経済学などの分野から話題を提供します。

令和7年7月26日(土) 13:00～受付
13:30～16:30 講義

岩手大学構内案内図

場 所：学生センターA棟1階

G19講義室

対 象：高校生/一般

持ち物：筆記用具・飲み物

申込方法：～お申込みフォームから～

右のQRにアクセスし申込フォームにご入力下さい。



～メールから～
pedagogy@iwate-u.ac.jp

上記メールアドレスの件名に“「環境学入門」申込み”とご入力のうえ、

1. 参加者氏名
2. ふりがな
3. 性別
4. 生年月日
5. 年齢
6. 学校名
7. 学年
8. 郵便番号
9. 住所
10. 保護者氏名
11. 緊急時用電話番号
12. メールアドレス
13. 本講座を知ったきっかけ
14. 講座で写真撮影したものを、HPとチラシに掲載しても良いか否か。

※受付後に上記アドレスより、ご連絡差し上げますので、必ず受信できるよう設定をお願いします。

申込締切：令和7年7月21日(月) ※受講者が多数の場合は期日より前に締め切る場合がございます。

※お申し込みいただいた方の個人情報は、目的の範囲を超えて利用することはありません。

ご提供頂いた個人情報は、お客様の同意なく第三者に提供しません。

国立大学法人岩手大学における個人情報の取り扱いについて

[c6234ad73db27cfb966a5241b3871967.pdf](https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/community/c6234ad73db27cfb966a5241b3871967.pdf) (iwate-u.ac.jp)

お問い合わせ

岩手大学 地域社会教育推進室

住所：岩手県盛岡市上田3-18-34

Tel：019-621-6492・6624

Mail：pedagogy@iwate-u.ac.jp

URL：<https://www.ccrd.iwate-u.ac.jp/community/>



＜講義内容＞

13:30～13:35	はじめにー開講にあたってー	塚本 善弘（地域環境プログラム窓口教員）
13:35～14:05	東北のプラスチックごみの問題と化学物質の政策を考える	寺崎 正紀（環境リスク学・教授）
プラスチックは、軽くて丈夫な素材として私たちの生活に広く使われています。しかし、「海でのある出来事」をきっかけに、その負の側面、とくに「マイクロプラスチック」の流出が新たな環境問題として注目されるようになりました。この講義では、東北におけるプラスチックごみの問題に加え、大学生が日常的に使っている製品からも汚染が広がっている現状を紹介します。こうした環境問題がどんなリスクをもたらすのか、そして地域ではどんな対策ができるのかについてお話しします。		
14:05～14:35	気候変動が生物に与える影響	金森 由妃（環境生態学・准教授）
気候変動は地球温暖化や熱波の増加などを引き起こしています。このような環境の変化は、生物にどのような影響を与えているのでしょうか？今回は、主に海洋生物の研究事例を紹介します。		
14:35～15:05	日本・岩手の住宅は何故、寒い？ -背景と対策の進展-	塚本 善弘（環境社会学・教授）
近年の日本では、熱中症より低体温症で亡くなる人の方が多く（相当数が自宅で発症）、ヒートショックを始め、冬の住宅内の寒さが注目を集めています。今回の講座では、これまで岩手や国内の多くの住宅が寒かった背景を、文化・社会的要因や法制度的側面から考察するとともに、岩手を含め一部自治体で進展し始めている対策（政策展開）についても紹介します。		
15:05～15:20	休憩	
15:20～15:50	環境問題への経済学の観点からのアプローチ	朴 香丹（環境経済論・准教授）
現代社会では自然環境は急速に悪化しており、地球温暖化、生物多様性の喪失、大気汚染などによる脅威はかつてないほど深刻になっています。経済発展によって環境問題が引き起こされた背景から、環境保全と経済発展を両立した持続可能な社会を実現するための研究をしています。		
15:50～16:20	持続可能な地域社会形成に向けた3つの連鎖的な市民共同太陽光発電所の再生可能エネルギー普及方策	中島 清隆（環境政策論・准教授）
東日本大震災の復興から「新生」とも表現できる持続可能な地域社会の形成を目指して、岩手県内被災地コミュニティでの市民共同太陽光発電所の建設・運営に、被災地外における2つの市民共同太陽光発電所が関わることで連鎖していった再生可能エネルギー普及方策の一例について紹介します。		
16:20～16:30	質疑応答・討論 終わりにー閉講にあたってー	塚本 善弘（地域環境プログラム窓口教員）

・やむを得ず公開講座を中止する際には、メールでお知らせするほか、地域社会教育推進室のホームページまたはFacebookをご確認のうえご来場ください。

・体調がすぐれない場合の参加はご遠慮ください。



岩手大学
地域社会教育推進室HP



facebook